（大正十一年九月十四日第三種郵便物認可）

新京日日新聞

夕刊　十月三日

本紙 一部五錢 一ヶ月一圓十五錢　發行所 新京永樂町四ノ 新京日日新聞社 電(3)三三二五番 三三〇〇番　發行人 十河樂忠　編輯人 和波　印刷人 水越內之介

肅清討伐進捗し 明朗海南島現出

【海口二日發國通】南支艦隊報道部二日午後六時發表＝皇軍の佛印進駐によりその重要性極めて大となりたる海南島は久しく皇軍無言裡の積極的島內肅清討伐および嚴重なる封鎖監視により敵匪は奧地に逃亡して兵器彈藥その他物資甚だしく缺乏しその抗戰力を失ひ首領王毅その職を辭し大陸に逃亡を企て敵保安團遊擊隊と共產黨とは互に反目相剋を事とし、その內側動搖の甚大なるものあり、この間皇軍に投降歸順するもの算へるに遑なき有樣にして敵匪の潰滅は近きにある情況なり島民は皇軍の庇護下に安居樂業しその生產力を增大し明朗なる新海南島建設に盡瘁しつつあり、七、八、九の三ヶ月における島內討伐回數は一、〇三一回にして主なる綜合戰果左の如し

敵遺棄死體一、九三一、捕虜四六三、鹵獲品小銃八一五その他多數、わが方戰死五戰傷一四

海防に日佛親善色

【佛印〇〇二日發國通】皇軍が海防に進駐して以來既に六日、市民の皇軍に對する認識を反映して地元各佛印新聞紙は連日最大スペースを割いて皇軍に關する報道を續けて來たが、その論調は日本軍を信賴して著しく日佛親善調を帶びて來た、二日附各紙は日獨伊同盟成立とならんで極めて友好的な日本軍印象記を書立ててゐる、市中には早くも皇軍進駐の寫眞が賣り出され市民の人氣を集めて寫眞屋の前は黑山の人だかりで市中のビヤホールなどでも日本店の看板がぽつぽつ揭げられるといふ微笑ましい風景である

豪膽な輸送機

【大原二日發國通】楡社東北地區の共產軍殲滅戰に彈藥輸送の重任についた〇〇部隊草間令司機縱士、福田健太郎機關士搭乘の〇〇機は一日午後勇躍〇〇基地を離陸わが〇〇部隊の上空を旋廻悠々彈藥を投下し無事歸還したが、死を賭して射つ敵の銃彈は機體を貫き豪膽な活躍を偲ばせた

草間機に續いて〇〇基地を飛出した輸送機操縱士、石川正泰機關士搭乘の〇〇機は果敢にも敵の頭上五十米の大旋廻飛行を行ひ彈藥を友軍に投下し連技の彈に陽の沒する頃彈藥一ぱいに敵の銃彈を浴び基地に歸還した

文官令改正 國務院會議通過

政府は新官吏道の確立、人材の登用、給與の合理化等を目的として康德五年十月勅令を以て滿洲國最初の文官令を公布實施し爾來二年間に亘り二回の各種考試を執行したがその後於ける客觀情勢の變化のと經驗より同の一部改正の必要に迫られたので、これに關する文官令中改正の件を二日の國務院會議に上程可決し十一月一日より實施することに決定した

改正文官令に於いては舊文官令の根本精神を飽くまでも堅持しその運營については考試全般の整理統合並に考試全般に亘る弊害排除等相當廣範圍に劃期的改正が加へられ舊文官令實施以來現地事務關係にて痛感されてゐた諸弊害が全面的に一掃されてをり各方面から多大の期待がかけられてゐる

杉山元大將 參謀總長に

【東京發國通】參謀總長の更迭に關し陸軍から左の如く發表された

△三日午前十時卅分陸軍省發表

參謀總長元帥陸軍大將　載仁親王

免本職

補參謀總長　陸軍大將　杉山元

【寫眞は杉山大將】

【東京發國通】天皇陛下には三日午前十時宮中鳳凰間に出御、杉山新參謀總長の親補式を執り行はせられ、近衞首相侍立の下に杉山大將に對し勅語を賜ひ首相より左記の通り職記を傳達した

陸軍大將正三位勳一等功五級　杉山元

補參謀總長

載仁親王殿下 軍事參議院議長に

【東京發國通】參謀總長閑院元帥宮殿下には滿洲事變勃發直後の昭和六年十二月廿三日宮殿下の御身をもつて參謀總長の御重職に親補あらせられ今次支那事變には十二年十一月廿日大本營の設置せらるると共に大本營幕僚長とならせられて畏くも御齡七十六歲の御高齡にわたらせられるに拘らず壯者を凌ぐ御健かさを持たれて日々軍務に御精勵遊ばされその間實に十年の永きにわたらせられたが今や支那事變も最後の段階に到達して中央政府は樹立されその承認も待つばかりで、一方國內の新體制確立ほか日獨伊樞軸強化の條約締結等東亞新秩序の樹立は逐次その緒につくに至つたので、今回參謀總長の御重職を軍の長老軍事參議官杉山元大將に讓られることになり三日午前宮中において杉山大將の親補式が擧行され、閑院元帥宮殿下には元帥府に列せられ軍事參議院議長に就かせられ、なほ御軍務に御精勵あらせられることとなつた

內閣參議內定

【東京發國通】政府は日獨伊三國同盟の締結に伴ふ世界情勢の新轉回、支那事變處理並びに大政翼贊運動の確立など內外の重要問題に對處して內閣參議制を活用することゝし過般來富田書記官長は就任の交渉を行ひつゝあつたが左の如く內定、三日の閣議を經て內奏することに決定した

△政界　町田忠治、久原房之助、中島知久平、安達謙藏△陸軍　林銑十郎△海軍　安保淸種△財界　鄉誠之助、池田成彬、勝田主計△宗教界　大谷光瑞

通譯の世界 複合民族國家と言葉

滿洲興業銀行總裁　富田勇太郎

それからそれへ 【三】

滿洲國には日本は殆んど常識になつて居るがにはない通譯といふ一の大きな世界がある。日滿人の集る會合や會議には必ず通譯なるものがある。それで時間が倍かゝる。複合民族國家の滿洲國には隨分他にも違つた點があるが、この通譯の世界も一の大きな特異性と言へよう。

何時も全聯に出席して感ずるのは通譯のことである。全聯の開期が短かすぎるといふのはその原因の主なるものは通譯の爲めに

時間が倍以上

かゝることにあると思ふ。それはそれとして何時も泌々感ずることはこれ等通譯の人々の勞苦である。各地方より集つて來た代表、言葉も皆が標準語をしやべるとも限るまい東北辯や鹿兒島訛もあらう。のみならず隨分人間は汁複の合はぬことを喋るものであるそれを理解し、記憶し、而も汁複を合はして外の語に譯して行く。その勞苦は並大抵ではないと思ふ。優秀な通譯には理解力と記憶力と整理力とが備つて居て、而も言葉は自由に出來なければならないから、餘程優れた頭の持主でなければならない。自分は將來滿洲で

豪くなる人物

は優秀なる通譯群の中から出るのではないかと思ふ。

しかし日滿兩語の片方しか分らぬ人は會議の半分は休んで居る譯である聞く所によれば日滿兩語の分る人は八日間の會議で非常に疲れる相である。これは普通の人の倍、頭を働かして居るからで尤な話である。自分等半分しか頭を使つて居ない連中が一樣に疲れたなんか云つたら、少し勝手過ぎると思ふ。

外用の語は子供の時分から仕込んだのでないかぎり、いくら巧くても其國の人には叶はない。自國語を話す外國人の言葉を聞くと、いかにもあどけなく可愛くは感ずるが、その人の利口さは割引さるることとなる。それですむことなら、外國語は喋らぬにましたことはないと思ふ。ここに

面白い譯がある。小生の友人に日本一流の漁業會社の副社長にSといふ人がある。彼れは日露戰爭のときに通譯をして居たといふから支那語は素養があるらしいが、英語は全くの沒 分曉である。しかるに彼の會社は鮭の罐詰を年々數千萬圓英國に賣り込んで居るので、彼れは其の商談のため、小生の倫敦在勤中倫敦にやつて來た。この時彼れは通譯として堂々たる英國人たる或會社の重役を隨へて來て、會議にも宴會にも彼を伴れて行つて、通譯をやらせる。彼れは、座談の大家でどの席でも、のべつ幕なしに駄洒落混りに喋り散らす。重役の通譯先生何時も汗だくで苦勞するしかし彼は英人重役を通譯扱にしてゐる所より重役以上餘程豪い人に評價され、高い月給拂つて態々通譯を伴れて行つた丈の效果は十二分に收めて居た。一體言葉にあまり苦勞するのは當らぬ。必要の場合には相手の方で、こちらの言葉を稽古して呉れる。

これもS氏の譯であるが、彼氏は倫敦一流のホテルの一番上等の室に陣取つて、何時も日本語でボーイに色々と命ずる。ボーイは初の間は何のことだか分らぬ、しかし彼はチップは人の數倍も出す。チップには一番大きな銀貨をやることにきめて居る。それでボーイ達は彼れは亞米利加の御目以上の金になり相な客と思つて、今度はボーイの方で競爭で日本語を稽古し出した。ネして後にはボーイの方から日本語で色々と御注文を聞きに來る。彼れは自分の注文の品をいはれると、初めて「エース」と答へ、それで立派にホテル生活を續けて居た。

しかし彼れと一年餘倫敦に居る中に商談に必要なる英語をポツ〳〵覺え出した。それも鮭とか罐詰とか磅とか「シリング」とかその外二十位の語は覺え、これを縱橫無盡に活用し、通譯拔きで商談をやり初めた。これには先方の會社でも閉口はしたが大事の御得意樣である所より、先方の重役が急所々々の日本語を稽古し出し、これでむつかしい商談を取纏め、立派に使命を果して歸國したのである。倫敦に居る日本人は大抵一かどの英國通でも英語の御喋べりには相當苦勞して居るのに、彼ばかりは英國人に日本語を稽古させて大威張りを續演した豪らしい存在であつた。習は無理すれば出來ればこれに越したことはないが、できなくとも逆手の手があるといふのがS氏のよい例である。

滿洲國の現狀

では通譯の爲に二倍の時間を必要とするといふのが爭へない現實であるとして見れば吾々は二倍のスピードで進歩をしなければ單一民族國家の進歩におひつけない譯である。この點は動ともすれば看過されて居るのではないかと思ふ。世界の新秩序によつて世界は少數の國家群の集團に統合されつゝある。其の完成の曉には英語が世界の共通語たる時代は過去の夢となり、言葉も各集團毎に統一され大東亞は日本語に歐洲大陸は獨逸語又は伊太利語に米大陸は英語といふ樣に單純化する時期も遠からず來るのではないかと思ふ否さういふ時期の早く來らむことを祈るものである【寫眞は富田氏】＝談

豐滿ダム發電所 けふ上棟式擧行

去る康德四年以來總工費一億五千萬圓、一日一萬三千人の工人を動員して建設中の水力電氣建設局が東洋第一を誇る七十萬キロ吉林豐滿ダム第一發電所は連日の努力によつてこの程その骨組みを完了、さきには皇帝陛下御巡狩の光榮に恐懼感激しながら秋深さけふ三日午前十時から蔡經濟部大臣、本間建設局長ら多數參列のもとに盛大な上棟式が擧行されたが式上蔡大臣は次の如き告辭を行つた

告辭

第二松花江發電所建設の工進み本日茲に上棟の式典を擧ぐ

惟ふに國力の充實發展は一に電業文化の振興に依存すと謂ふべく電力の擴充は之が基礎たり

特に我國現下の情勢は新東亞建設の素地として資源の開發國防の充實等國力の飛躍的發展を冀求せらるゝところ益す切なるものあり之が基礎たる電氣事業の發展に期待するところ亦尠しとせず

之の秋に當り吾國產業界の中核的電源として曩に建設の工を起したる本松花江發電所の工程順調に進捗し本日上棟の式典を擧行するに至りたるは國力の伸張に一大礎石を築きたるものと謂ふべく本官の最も欣快とする所にして國家の爲め慶祝に堪へざる次第なり

素より此の間官民各位の絕大なる援助と當局者の犧牲的努力とによるは贅言を要せずと雖も尙は今後一般の努力に俟たざるべからざるものあり現下內外の諸情勢に鑑み益す協心戮力時艱を克服し國運の隆昌に貢獻あらむことを、右告辭とす

英空爆に出動の獨機

アジア艦隊增强と 新嘉坡利用未だし

米海軍長官言明

【ワシントン二日發國通】ノックス海軍長官は二日記者團との會見における質問に對し目下のところアジア艦隊の增强もシンガポールの利用も現實の問題とはなつてゐない旨大要次の如く答へた

一、海軍當局は差當りアジア艦隊、揚子江巡邏艦隊乃至比島の分艦隊の增强を計畫してはゐない、一方千餘名の上海駐屯軍の引揚げを行ふことも今のところ全然考慮してゐない、シンガポールの共同使用につき英國と折衝してゐる事實或は同軍港調查計畫等は全然ない

一、米艦隊の濠洲ニュージーランド親善訪問は海軍省としては未だかゝる計畫を決定するまでには至つてゐない

一、リチャードソン艦隊司令長官がワシントンへの途上にあることは事實である、リチャードソン長官に對しては太平洋の一般的情勢について協議するため自分からワシントンに來るやう招請したのである

外務辭令

【東京發國通】外務辭令（二日附）

任總領事（二等）　外務書記官　藤村信雄

海口在勤を命ず

任外務書記官（三等）　領事　吉田寬

亞米利加局第一課長を命ず

（各通）

南米諸國の參謀總長赴米

【リオ・デ・ジャネーロ二日發國通】アルゼンチン參謀總長ギレモ・マアー將軍及びブラジル陸軍參謀總長ゴエス・モンテリオ將軍は米國の招待に應じ參謀總長會議に出席のため二日夜ウルグワイ號で米國に向つた

都會の娛樂機關 營利を排し共同的に

今日の都會生活については種々の問題が存してゐる、その中で、娛樂機關について少しく考へて見たいと思ふ▼現在都會では娛樂機關の大部分が營利の具になつてゐると言ふことが出來よう、その事がすでに一つの問題なのであつて、そこには爲政者の言つて見れば怠慢ともすべきものがあり、また文化意識の缺如といふことがあるのだと思ふ、今日まで國民の指導者を以て任じてゐた人々が大體藝術と娛樂の區別を知らず、また娛樂と運動或ひは敎育とをよく混同して來たのである▼娛樂の要素は藝術の中にもあり、また娛樂を藝術的に營むことも可能であるが、娛樂そのものの本質は人間が最も自然な姿に於いて歡喜し、興奮し、心身の苦痛なしにそれに沒頭し得る遊びでなくてはならぬのである▼娛樂にはまた習的なものと感覺的なものとがあるがその何れが高いといふのでもない、民衆の娛樂はそれ故民衆自身の手に成つたもの、民衆の素朴な精神を精神としたものが最も高い價値をもつてゐるのである、そして民衆の欲求は元來健康なものであると信ずるのだ、それを不健康なものにするのは民衆を食ものにする手合の陰謀と術策であらう、さうした方面で營利を業とするものと獨善的な民衆指導者の反省を求めざるを得ないのである▼都會にかける娛樂を改善するには先づ都市居住者をして共同の娛樂を樂しむ時間と餘裕とを持たせなくてはならぬ、共同の娛樂といふのは、小にしては家庭的娛樂、これを押しひろめれば町內隣人とともにする娛樂、更に進んでは市民擧つて參加し得るやうな祝典的催しなどである、さうした方向への指導を望むのだ

"實情に卽した 地方行政期す"

武部長官哈爾濱で語る

東滿地方に於ける北滿振興政策並に地方行政の運行狀態を視察中であつた武部總務長官は特命監察使として土肥民生部次長、瀧谷治安部次長、青木企畫處長、菅地方處長、飯沼主計處長等を帶同二日午後六時半空路牡丹江から哈爾濱飛行場着直に忠靈塔、哈爾濱神社に參拜の上宿舍ヤマトホテルに入り待受けた記者團と會見元氣に左の如く語つた

東滿地方振興政策並に民生政策については從前多少の概念は持つてゐたが今度巡察して見て一層はつきりするところがあつた、國境接壤地帶たる同地方の諸君が張切つて萬事圓滑にやつてゐるのを知つて心強く感じた、殊に勞力の資材の不足を乘越えて振興實績の向上に邁進してゐる點は大いに感服させられた、明年度豫算編成を前にして單に北滿振興政策に限らず總て來年度は徹底した重點主義でやつて行かなければならぬがこれは最重要なものには格別力を入れて遂行する心算だ、併し地方によつては事情を異にし一律には何が重點であるかは容易に認められないが大體において重點主義の基點を從來の實績の上におき同時に地方事情に即して今後の事業計畫を進める心算である、今次の特命監察は綜合監察だから徹底的に巡察する、抑々監察制度と云ふものは政府の意向がどこ迄地方行政の上に具現されてゐるか、又地方施政がどの點迄地方民の上に滲透してゐるか更に行政事務の刷新が如何に遂行されてゐるかつまり中央と地方との行政上の連絡がどの程度迄緊密化されたかを監察するところに最重點がおかれると思ふ、この點から見て從來不充分の地方もあつたが現在は殆ど完成されたやうだ、今後とも各機關の完全なる連絡や協和會運動により民衆の最末端の編成强化によつて更に一層中央、地方行政の圓滑化と云ふことが重要な課題とならう、目下行政運行の上で幾多の重要な問題が山積してゐるが特殊會社の刷新農產物の蒐荷督促等は最主要問題として特に力を入れて行く心算だ

なほ長官は三日午前八時五十分省公署において省長、次長の政務報告を受けたのち廳內を巡視午後は陸軍病院、治安部病院等を訪問各機關首腦部と挨拶を交し終つて官民合同の歡迎宴に臨む

英本土を爆擊

【ロンドン二日發國通】獨空軍の大編隊は二日早朝折柄の好天を利して英本土各地を廣汎に空襲し、ロンドンでは午後一時までに四回の空襲警報が鳴り響いた

なほ英空軍當局の發表によればスピットファイア戰鬪機隊はテームス河口にこれを邀擊し獨編隊を四散せしめうち八機を擊墜したといはれる

司令部發表

【ベルリン二日發國通】獨軍司令部二日正午發表＝

一、獨空軍は一日より引續き二日拂曉まで英本土各地を空爆し火災を起さしめた

一、ハム少佐の指揮する獨空軍編隊はベムブローク・カリュー飛行場を空爆し格納庫に多大の損害を與へたほか地上に排列された多數の飛行機を爆碎した

一、獨空軍はリヴアプール港灣諸施設及マンチエスター軍需工場を爆擊し火災を惹起せしめた

一、一日夜英空軍は西部獨逸を空襲し住宅街に相當の被害を與へた

一、英空軍はベルリン東方の煉瓦工場に爆彈を投下したが被害は僅少であつた

一、一日より二日拂曉までの敵損失機數は十七機でありうち十五機は空中戰により擊墜された、我方二機歸還せず

伊機 英巡洋艦襲擊

【ローマ二日發國通】伊空軍司令部發表＝

一、敵機は二日わが軍占領下のブクブクおよびリビアのトブルクに空襲し來つたが損害は極めて輕微であつた

一、中部地中海上空においてわが戰鬪機は敵のサンダーランド型飛行艇を擊墜した

一、わが一編隊は東地中海において英巡洋艦二隻を襲擊しさらにアデンの英海軍飛行場を爆擊して全機無事基地に歸還した

一、敵が軍はソマリーランドのゲリリおよびエチオピアのデイレダワの東北にある鐵道のトンネルを狙つて來襲したが被害はなかつた

總力戰研究所 陣容一部發表

【東京發國通】總力戰研究所の所長及び所員の一部は二日附官報を以て左の如く發表された

企畫院總裁　星野直樹

總力戰研究所長事務取扱を命ず

內務書記官兼企畫院書記官　大島弘夫

陸軍大佐　渡邊渡

海軍大佐　松田千秋

商工書記官　岡松成太郎

任總力戰研究所員（三等）

（各通）

大藏書記官兼企畫院書記官　松田克巳

任總力戰研究所員兼大藏書記官（三等）

農林書記官　寺田省一

任總力戰研究所員兼農林書記官（三等）

外務書記官　栗村勝藏

任總力戰研究所員（四等）

松井中將 五日に離京

松井顧問治安部最高顧問は五日午前九時新京發はとで離京豫定のところ都合により同日午前八時發飯客便により離京と變更された

滿洲國人事

十月二日の定例國務院會議に於て左の人事を可決、近く正式發令を見る筈である

任哈爾濱醫科大學敎授敍簡任二等　村上賢三

（牡丹江地方法院長）審判官　上野謙一

（安東地方檢察廳長）檢察官　西川精開

（延吉地方檢察廳長）檢察官　深木國衛

（牡丹江地方檢察廳長）檢察官　增田昇平

既敍簡任二等

人事往來

着京

平島滿鐵文社長勸任・社員・廣瀨新屯相來滿・齋藤兩厚生大臣は滿洲視察のため十四日來京同三日滯在の豫定

平島敏夫氏は二日午後九時三十分着列車で歸任した

【齋藤】問のため北滿方面へ出張中であつた滿鐵新京支社長平島

△宇佐美利男氏（滿鐵社員）三日來京國際ホテル

△濱田正信氏（奉天興農合作社）同

△坂本慶氏（同）同

△友田東三氏（大阪農業製作所）同

△齋藤唯才氏（同）同

△金子實氏（會社員）同帝都ホテル

△高野新藏氏（會社員）同

△部丸輝司氏（東亞商店）同

△林榮一氏（中和產業會社員）同

△岩瀨留一氏（會社員）同松屋ホテル

出發

△岸元氏　東京へ

△菊地惣九郎氏　龍井へ

△畑守謙二氏　大連へ

△海村國次郎氏　錦州へ

△中西重雄氏　黑河へ

△西川不二雄氏　奉天へ

海南島はすでに明朗、ひらけ行く東亞新秩序の具體化をこゝに見る

×

佛領印度支那にも親善風景、これまた新事態の到來を濃厚に

×

吉林の發電所上棟式、これは建設滿洲の行進をあざやかに示す

×

協和經濟の建設、それも着々と推し進められることを信じよう

×

人間の意識の革新、それのための優れた指導がそこには待望されてゐる

黃昏の江潮

石軍　作　藤田菱花　譯　今村主稅　畫

四

やつとのことに十錢投げ出して高梁燒酒を飲む決心をした。

「ついでに半ヶ月分の船借賃を納めに行かう、お前、納めたか？德亮子」劉興家は心中、ほんたうに愉快だつた。

船借賃は今日納めることを承知してくれるだらうかと思つたら、果して難なく取つてくれた。こんなことはめつたにない事だ。お婆さんの所食ひと同じで都合がいい。

『俺のは昨日やつと納めた。老周はやめて又新開業の何とか公司に行つたとかで頭髮を分けた一人の男が來てゐる、へら棒奴！老周よりも頑固で遠慮なくしやくもなくびしくやるぜ、口を開けばすぐ罵りくさる。俺に何故又三四日もおくれたかと聞いた。老劉、娼妓はいつも白粉つけさせて置くのに彼奴は自分の顏の事はちつとも考へない』德亮子はたつた今攤賣から買つて來た腐れかけの小さい梨をがりがりとむさぼり食つた。小巷の中は一杯の人だつた。どれも皆節句の買物に來た連中である。鮮紅色の水大根、ハルビンから仕入れられた圓い西瓜、香袋と五色の木綿糸いろ〳〵雜多な露店がにぎやかに五月節句の前奏を繼交ぜてゐる。

赤煉瓦の貸船事務所の門前に來たとき、劉興家は德亮子を一寸つゝいて

『お前、持つて行つてくれ、俺は船の借賃を納めに行くから』

德亮子は劉のこのごたく〳〵した節句用品を片方の肩に擔いだ。事務所の北側には今年の春建てられた二階建の黑煉瓦の家があり、その門前に澤山の人だかりがしてゐる。彼も好奇心を牽かれて思はずそこに步いて行つた。德亮子は、きつと誰が毆られてゐるか、それとも悲觀な子供達が乞食をからかつてゐるか、それとも中毒者が毆合ひをやつてゐるかと思つた。行つて見ると、さうでない。井樓式の揭示板に一枚の新しい佈告が張られ、白い模造紙に黑黑々と大きな楷書で書いてある。しかし圍んだ彌次馬が多いので、力まかせに押し入らうとしたがはいれない「油がつく、油がつくぜ」と騷ぎ手を考へ出しやつと前に出られた。佈告にはこんなに書いてあつた。

輪船公司佈告第13號（總字第28號）

佈告　査するに本市は南に鐵路通じ北松江に臨み交通發達し商業繁盛し實に東北滿洲の一大重鎭と爲す。本公司開設以來江上交通に對し全費を負へり。故に米穀の運輸旅客の往來皆極めて利便を感ず。然るに本市より沿江各港に至る此の如く繁昌すると雖も本市より附近島嶼又對岸炭港等への交通は遂に顧る暇なかりき、故に爾來二三資本薄弱の船商の貨賃に係る陋狹の小遊船微力なる人力を藉りて隨意に渡船せり。隨時費目、言を待たず往來の船賃又極めて高價なり。これ實に本文明都市の一大缺點なり。本公司早くも之に留意し特に歐米各地より新たに精鋭の小型汽船若干艘を購ひ專ら附近の江島及炭港等の地に運轉す。船賃既に廉價、需むる時は且つ迅速なり、深く我が一般商民よく之を利用され、方に本公司の交通上の貢獻に背かざらんことを望むものなり。

康德×年×月×日

輪船公司支配人　張巖

左記

區間	時刻	船賃
至蓮江口	十五分每	二十錢
至江通	二十分每	五錢
至駱駝島	廿五分每	十五錢
至燒餅島	三十分每	十錢

『小型輪船とは何だらう』德亮子の傍の芭蕉團扇を持つてゐる商人風の男が人に尋ねる樣に又自問する樣に言つた。

『小型輪船は江兎子のことさ』と答へる聲がした。この聲は一個の彈丸となつて德亮子の胸板を貫き、彼は眼の前がまつ暗になり滿山の光蟲が亂舞する樣に見えた。とつくにその話は耳にしてゐたが『江兎子は波等の仇敵である。江兎子は素張らしく速く危險もなく切符代も安い。彼奴が來たらべら棒奴誰が手漕ぎののろまな小船に乘るものか』早晩江兎子が來るとの噂があつたが、ほんたうに彼奴が來た、德亮子は又呆然心が蜜球の樣に熱くなり炸裂しさうだつた。

全聯を語る座談會 (4)

三つの力一元化 三本建の必要

平　今まで傍聽して來た問題の中で交通事故が非常に多くて困る、之を防ぐ制度を速かに確立するとか、損害に對して保障して呉れ、國交通部は滿鐵の味方か四千萬民衆の味方かと言つたやうなことを聞きましたが、併しこの鐵道事故といふのは拔術が多いといふ問題でせうがこれを根本的に考へれば民衆の生活の上に於て非常に物資が足りない民衆が生活に窮屈を感じて困るといふことであとは從業員の素質低下良心の問題になるが、大きな根本的原因は物資の缺乏といふとだ金があつても物が買へない、それから一般的貧攬の不均衡から來る……或は滿人に起り勝ちな一つの道徳的弛緩、さういつたことから現はれて來る現象と思ひます、これは滿鐵に或は四千萬民衆に味方するとか何とか言ふのでなしに、結局物資の不足して困る時代に、一體我々はどういふ心構へで生活すべきかといふ問題なのでせう、物資不足といふことを各々が感じて、この難局を打開するために舊道德觀念を拋棄して新しい道徳を打ち立てねばならぬといふことが問題になつて來ると思ひます、從つてこの倫理化問題といふことは東亞に大きな問題となつて來ますね、今、日本は東亞のために戰爭を繼續中なのだ、そこに客觀的に色々と複雜な問題が次から次へと起つて來るこれを切拔けるためには國民の從來の舊い心構へを棄てずしては爲し遂げられるものではないのだといふことに氣づいた人達も所謂新しい倫理といふものを樹立するわけだだから僕は滿ソの情勢、世界の情勢から來るこの難局を打開するには、日滿支の結束を鞏固にする以外には途はないと思ふ、これを切拔けるためには無い物資を分け合つて我慢し合つて而も將來に希望を持つて進んで行くか、行かないかの問題になつて來ると思ひます、國民組織の問題でも、倫理化の問題でもさうだ、日本の新體制といふことも、さういふ世界情勢とか日本戰爭による物資の不足から來る色々の多少の無秩序といふものそれを打開して新しい國民的地盤に立つて新しい經濟政策を新しい經濟制度を布くこれが新體制であつて滿洲でも同じことで、國民の再組織は世界的情勢とか内部的情勢によつて生じたものであるが、まづこの新しい倫理化運動によつて進んで行かねばならぬ、だから政府といふものと、協和會といふものと、國民組織といふものが夫々別個の問題であるはずはない、政府の行政機關とか國民組織といふものと別個のものであるならば滿洲國の協和會といふものは、極めて薄弱なものだ

またかういふ議會制度のないところでは民衆の本當の要求とか希望を反映させる日本のやうな最高經濟會議とか、最高文化會議を作り上げて協和會に協力する、政府に協力するといふ三本建が必要ではないかと思ひますが、滿洲國ではまた日本と違つた滿洲に應じた協和會といふものがあるためにそこに相違があるのですね、例へば全聯などにしても物資問題、物價問題農産價格問題等を主として非常に非難が起つて居る、そこへ武部さんが協和會の構成員として出て來られて僕の法律上の意見は斯うだといつた法律一點張りな言葉で答辯したのでは拍手はしない、ところが武部さんが自分の前任者の當時のことであるが色々事情も聞き調べても見たが、これは全くの親心でこれがよいことだと思つてやつた、併し客觀的情勢が非常に不利となつてしまつたのだ、そして世界の情勢は斯ういふ狀態だと諄々として理と情とを以て話した說明なんだ會員の顔はと見れば感激的となつて忽ち滿場の拍手なんだ

滿人等に對しては特に協和會がなければ斯うした場面は見られないと思ふ、斯ういつた意味に於ても協和會といふものは非常に必要でもあるし、また將來に對しても大いに期待をかけて居ります、協和會に一番希望を持つて居ります

時事解說　無煙炭を木炭自動車に

北支の無煙炭を木炭自動車に混用して走らせたらどんな結果になるだらうかと北支開發會社ではかねて山西の無煙炭を東京高速度鐵道に送りその試驗方を依賴したところ東京高速度では早速同社經營の青バスに七月から八月にかけ晴、雨、曇天の各天候別に詳細な試驗を行つた結果頗る好成績を得た旨この程北支開發に報告があつた。右によると車はフォード卅七年型の木炭自動車であるが試驗中最高成績をあげたのは木炭六割石炭四割の混用で貫當りの走行キロは一一・八キロ木炭のみの平均走行八・四キロに比し三・四キロ增走の能率をあげ燃料費一キロ當りにおいては四割混用で三圓八一錢で木炭のみの七圓七二錢に比し約半減してゐるこの嬉しい報告により開發會社では十月さらに陽泉、焦作、門頭溝の各炭礦の無煙炭を送るが今度は京濱、湘南各バス會社でもこれらの石炭を混用して實地に試驗を行ふこととなつてゐる戰時下日本においてガソリン節約を要求されてゐる折柄北支炭の混用は各方面より絶大の期待をかけられてをり十月の各バス會社による試驗が好成績であれば年内に全東京のバスは石炭の混用を行ひ從來の木炭使用による一般家庭の木炭飢饉解消にも役立てんと北支開發會社では意氣込んでゐる

"私"の報告書 (6)

米山弘

泳も型泳一點張りで僕のゐた頃は生徒の前でクロールを泳ぐ事も禁ぜられてゐたので生徒達が歸つたあと若い者だけ殘つて日の暮れるまで競泳の練習をしたものである。

昭和三年にはアムステルダムに行はれた世界オリンピック大會に日本水泳代表として選拔をうけた。この年僕は調子が非常にわるく同じ敗れるなら短距離へ出てやれといふ考へから從來の長距離から一轉して最終豫選には百米と二百米に申込んだ。

六月三日玉川プールで行はれた最終豫選會には全國の強豪が集まり殊に自由形は短距離の高石と長距離の一名をのぞいては八百リレーのメンバーを中心に選拔されるので二百米の競り合は激しかつた。

結局第一豫選、第二豫選を辛うじてパスした僕は決勝に於て明大の佐田を最後のラップで破つて一位を占めることが出來た。その時の記録二分二七秒は今の滿洲記録と同じ位である。

試合が濟んで玉川の堤を新緑の風を吸ひ眞赤な落陽を眺めながら一人で合宿の方へ歩いて戻つたが湯上りのやうな爽快なあの時の氣持は一生一度のものであつたかもしれない。

六月中旬選ばれた選手十一名(飛込一名を含む)それに監督、マネージャーを含めた一行は東京を發ちシベリヤ鐵道經由で先づパリーに行つた。アムステルダムのプールが未完成で練習が出來ないといふ情報があつたからだ。

パリーではガンベツタといふ所に宿をきめて毎日地下鐵でツーレルのプールに通つた。このプールは先のオリンピックが開かれたところで可成立派な設備であつた。巴里にゐる内有名な巴里祭も行はれたが宿の前の廣場で一晩中ダンスが行はれ騷がしいといふので次の日にセーヌ河畔のホテル・ド・パリーに移つた。

パリーにゐるうち日佛競技が行はれたが佛蘭西チームは大したことがなかつた。後に四百米で世界記錄を度々更新したタリスなどもゐたがその頃は問題でなかつた。

秋祭

御子柴希佐子

さわめける街をとどろく煙花なれとほどほしかもみそら澄み果て

○

ポツクリの鈴音近く過ぎにける明るい部屋になにごともなき

○

水槽のゆたかにみてる水藻や冴え透りにしひかりたもちて

○

わが庭のダアリヤ蝦夷菊咲きつぎてしみらに輝れる秋は至りし

○

國務院いらかのはたて澄ぞきし雲 曳靡にうつらふ陽光

—アカシヤ同人—

室生犀星「草山水」

東京で毎日省線に乘る主人公の電車内での色んな經驗、それらについての感想などを書き綴つたものである。普通なら小說にならぬものをこれだけ小說らしくしたのは、やはり作者の腕であらう。

女學生の群れ、中學生のポケットにつつこまれた赤ん坊の足、無禮な女の客、故障で停つてゐる間に近くのアパートから聞えて來たこほろぎの音、驛員の姿、切符賣り場の情景など。讀んでゐてなかなかに愉しい、作者の緻細な、そして執拗な觀察と表現の魅力である。

草といひ山といひ水といふのは、主人公の聯想に浮んで來るものである。忙しい都會生活の中にもこのやうな一種の「遊び」はあることが知られる。併しここには「思想」といふものはない。それがこの小說の古さが生れる所以である。尤も、力作、大作ではないとしてこれだけかなりに樂しませるものを持つてゐるのは認めねばならない。十月號「文藝春秋」所載。

(御酒倫士)

隨筆　老友 (1)

眞殿星磨

留守宅の女房から、東京の太田さんが、どうやら胃癌らしい、それでも割合に元氣で、石に噛ぢり附いてももう一度元氣になつて、新らしい滿洲を觀に行くと言つてゐるさうです。お見舞狀を出してお上げなさい。喜ぶでせうからと、手紙を寄越した。私はこの手紙を展げたまゝ、暫し暗然とした。

太田信平と初めて識つたのは、明治四十年奉天に於てだから、數へて見ればもう三十五年の昔になる。早くから他郷に出て、竹馬の友を持たぬ私に取つては、太田は最も古き親友の一人である。彼と同じだけ古い友としては他にもう一人大連の山下があるだけである。併し太田と私との交情は、古いとは云へるが、長いとは云へない。何となればこの間に互に親しみ合ふ代りに、憎み合ひ呪ひ合つた惡夢の二十幾年が挾まるからである私は數奇なる二人の關係を思ふ度に、人生の事すべて佛者の所謂因緣なりとの感を深うする。今老友病むと聞いて若き日の足らぬ心の故に、長い間友を苦しめた過ちに對し、私はあやまりたい氣持ちで一杯である。見舞狀に代へて、茲に懺悔の一文を綴る。

○

太田は日露戰爭に野戰電信隊として從軍し、戰ひ終ると共に、そのまゝ滿洲に殘留したところの若き通信手であつた。從軍するまでの彼は、社會主義の鬪士として、年中フロックコートの着流しで、路傍演說などして、東京の街をあばれ廻つたといふ話だが、私の識つた頃には、もはや主義者の匂ひはなかつた。それでも酒を飲んで醉ふと、可成り過激な人生觀を吐いた。文學が好きで、小說を讀み、哲學を語り、短歌を作つた。當時まだ野原だつた奉天新市街に、今の郵便局の一部がポツンと建つて、家一つない淋しい通を越えると、今の春日町一帶は[illegible]の跡が一面にあつて、夜など危なくて通れなかつた。そこへ平屋の獨身宿舍が一棟建つた。太田と私とは十人あまりの同僚と共に、その寮に住んでゐたのだが、一軒だけ遠く離れてゐるからといつて、誰言ふとなしにそれを、北海道宿舍と呼んだ。それが通り名になつて、居移り年變り、繁華の中心となつた近年まで、北海道の名がまだ殘つてゐた。北海道ではあまり無風流だとて、一面に咲き亂れてゐる野菊から取つて、私が野菊村と附けたけれど、それは擴まらなかつた。

太田より一足先きに私が結婚して、さゝやかな家庭を作つた。そこへ太田は入りびたりのやうに遊びに來た。そのうち太田も結婚した。かくして兩家は、兄弟以上の親しさを以て交はつた。私は長男が生れ、續いて太田に長女が生れた。その前年例の大逆事件が起つて、幸德秋水等一味の斷罪は、もう既定の事實となつてゐた。

「秋水の殺される今信平の父となる年來ぬと祝ほぐ」

年の始めに、私はかう謳いて太田に送つた。太田はその時まで、秋水や堺枯川や荒畑寒村や、昔の同志の手紙や葉書を、束にして大切に保存してゐたが、その正月キレイに灰にしてしまつた。

その後私は東京へ暫らく移り住むやうになり、太田は長春に轉勤したが、三年後には再び大連で一緒になつた。奉天以來の親友だつた山下も、矢張り大連に移つてゐた。そこで三人の樂しい交情の數年が過ぎた。その間に太田には段々子供が殖えて來た。生活に對する苦惱の影が、若き純情家の彼の額に印せられるやうになつた。折柄世は歐州大戰に依る好景氣の絶頂で、大小成金は各所に續出した。太田は頻りに金にあくがられ出した。何時までも理想家だつた私達二人と太田との間に、やゝ思想的間隙が出來始めた

滿洲を中心とした 東亞音樂について (4)

田邊尚雄

東洋の音樂を研究するのは難かしいことで音樂を聽くまでには是非經なければならぬ嚴重な作法があるのである。立派な音樂であればある程作法が臨かしくて音樂の研究の前に作法の研究をしなければいけないと言はれる程面倒な作法があり作法を知らぬ人間には演奏して聽かせないのであるしかし古い音樂を研究しそれのみに頼ることは沈滯を意味し沒落の途を辿る。此の點で日本に雅樂が保存されて、しかも洋樂の研究も盛んであることは極めて有意義なことでそれでこそ現在の日本があり得るのである。

日本では即位式に雅樂が用ひられる。或る人が嘗つて日本獨自の文化を主張せんとしあやまつて「即位式の雅樂は支那の曲と樂器を使つて怪しからぬ」と言つたが私は斷然反對した。即位式の雅樂の中には支那の樂器は無いのだ。支那の樂器は琴と瑟が基礎であつてその琴とは柱の無いものを云ひ日本に使つてゐるものは皆柱があつて全部箏の類である。其他支那の樂器と云はれてゐるものは原をたづねれば何れも支那を通り過ぎたに過ぎないもので、例へば篳篥は中央アジア、笙は印度、琵琶は印度、箏はペルシャのダルシマーから來たものである。斯く考へて見れば日本音樂文化はアレキサンダー大帝の文化であり、斯る世界的な性質を持つ樂器を即位式に奏することは此の上なく目出度いことである。東洋の音樂は再認識されねばならぬ。

ナチスはユダヤ人を排擊したが之は文化的には一考を要する問題で、往昔日本は元を擊退したが元の文化を受容れてゐる。國民性に合はぬものまでも同化して國民的なものにしてしまつてゐる。謂はば日本は文化的にはドイツよりも寧ろ適合し易い特徴を有してゐるやうである。滿洲に於てもドイツ模倣ばかりするのは止めて國情に合つたもの、國情に益するものは躊躇なく迎へ入れ進んでこれを指導する氣持でなければならぬ。

現在洋樂で使はれてゐる樂器類も殆ど東洋の原産で、ホルンは原は中央アジアのもので日本に入つては法螺貝となつてゐる。クラリネットは印度のもので、長音階、短音階等も印度で生れ、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ドの階名をつけたのはペルシャである。斯樣に洋樂も原を洗へば東洋音樂に淵源を有するのである。

日本における俗樂は經文散から出てゐる。起源をさぐつて行くとペルシャより沙漠を通つて西安に出て黄河に沿つて來たもので印度から來たものではない。印度から支那人は釋迦の骨と共に經文が傳へられたが言語の相異から經文は消失してしまつた。しかしペルシャから經文があつたので、それを傳へたわけである日本では平安朝の頃日本の文化を受けて經文が生れ、これは他の何れの國のものより優れたものであつた樣である。他のものを同化し更に創造を加へて一層立派なものを造る日本人の才能は實に素晴しいものである。僅か十三絃の箏で八十八鍵のピアノにもまさる音樂的内容に技巧を持つものが最近日本に現れたことも日本人の優秀無比な才能を裏書してゐる。

吾々は東亞音樂の將來に付て悲觀すべき材料は殆んど持たぬ。東亞新秩序が確立されたならば、東亞音樂の將來は實に洋々たるものがあらう。東洋人たるもの緊褌一番積極的に活動を開始すべき時ではあるまいか。

らくがき帖

筆者國通社長森田久氏

北滿から朝鮮へ (1)

敷島高女專攻科二年旅行團

旅—旅—何と心ひかるる言葉でせう。

秋の氣は澄んでゐます。運動會を終つてはち切れさうに彈んでゐる私達の體力の自信[illegible]滿兩國一體の樞軸的國策と聞かされてゐる、其の北滿の大天地を見てそこに歡々として開拓の聖業に邁進する鋤の戰士等の姿に接する事は大切な教養の一つかと思はれます。かうして思ひ立つた滿鮮旅行こそは、私達に取つてまた輝しい二千六百年を記念すべき大收穫ともならうと信じられ大いなる意氣込みをもつて只今出發致します。新京日日新聞社の御好意によつて、私達のつたない文に貴い紙面を割いて下さる事になりました。どうぞ皆樣の御笑覽を御願ひ申し上げます。(辻生)

熱戰二十合 (上)
野球リーグ戰後記

秋のシーズンを飾る野球リーグ戰は九月廿六日滿倶の優勝を以て華やかに幕を閉ぢた。十四日開始以來廿試合、その中には見るに堪へざる愚戰も二三あつたが概して熱心な試合を展開した事は喜ばしきことであつた。

滿倶の制覇は豫期せさるものであつたが、大田原投手の好投はこのチームの缺點である貧打を見事に征服してこの榮冠を獲得した。事實心配されてゐた貧打はシーズンに入る前よりは幾分向上してゐたがそれでも八試合全部を通しての得點總計は僅かに十四點即ち一試合に二點を擧げることの出來なかつた有樣で、敵に二點得られた場合敗退してゐる。對電業一回戰に二對一、對滿洲國二回戰に二對零で敗れてゐるが、その他の試合は何れも一點或は零點で敵チームを退けてゐる。全試合通して敵に與へた點數は九點正に大田原投手の輝かしき功績である。彼が彗星の如く新京球界に出現して茲に三年、明春は皇國の精銳として入營することになつてゐるが、その置土産としての最後のシーズンにおけるこの好投は見事に結實して久振りの榮冠を滿倶チームの頭上に齎した。我々は彼の奮鬪に拍手を送つて滿倶の優勝を祝はう。

◇　◇

春の覇者電々は西村不調の爲楠原を時々使つたが、彼の完投した對滿倶一回戰、對電業一回戰は何れも敗れ、不調とは言ひながらも西村の方がまだ頼みになり對滿洲國戰にも彼の救援に依り漸く勝つ事が出來てゐる。しかし西村の不調が五勝三敗で第二位に落ちた直接の原因となつたものでなく、チーム全體が春よりも弱體となつた所にあるだらう。稻田、宇多村、金村、山下を擁する外野陣はまだしも毛利、廣田、森下の內野に一抹の危惧を抱かせる。殊に三壘森下は走者無き場合は確實に一壘へ投球するが、走者があると焦つて暴投する危險性を多分に有し味方に危機を與へてゐた。捕手に村田、北島の兩名を有する爲一壘に人無きを幸ひ村田を廻し別に破綻を見せなかつたが前年來の彼の華々しい捕手振りを見てゐるだけにこれも何か見當違ひの感を抱かせるのは否定出來ない事實であつた。

しかしながらこのチームの打陣は責むべきもので、ナイン生活十數年のヴェテラン稻田がいまだに衰へを見せず打擊率四割七分六厘を以て打擊ベストテンの第一位を占めたことは好漢村田の第二位と共に喜ぶべきことであつた。

世紀の英雄 (164)

番伸二　高田よしを畫

夕映えの女(三)

坂口鐵を、暫らく其の圓形椅子へ殘しておいて—今、待合所から出て行つた二人の女のあとをつけてみよう。

一人は小粋な年增。

もう一人は、鐵が思つたやうに、たしかに帝都レヴュウの京町鶴子によく似てゐる。

似てゐる筈だ。

京町鶴子は彼女の本當の妹つまり、彼女は、讀者も既に氣がついてゐられるであらう山村治子である。

もう一人の年增は「松の家」一座の花柳かの子。

二人は、もう暫らく前から大連に來てゐたのである。

それは黑河ホテルのアトラクションの時、大連の大和劇場から、治子を含めての「松の家」一座を買ひに來たことを思ひ出していたゞきたい。

大和劇場の小屋主、川田市兵衞の話がまとまり「松の家」一座は、あれから大連へ來てゐたのである。

花柳かの子と山村治子は朝から出歩くなんて珍しかつた。

夜の遲い劇場生活。

今朝は何だか治子が眠れないまゝ起きて了つたのを、丁度花柳かの子も目覺めて、

「大連の朝を知らないなんて可怪しいわね、一寸ぐらゐ、朝の街を歩いてみない」

と云ひ出して、二人は朝の散步としやれたのである。

大連港の待合所から出た二人は、鐵道事務所から東廣場に出て—それから大廣場への山縣通りへは行かず、眞すぐに土佐町通りを朝日廣場の方へ歩いてきた。

朝の廣場から大和町通へ。

その大和町に、いま「松の家」一座が打つてゐる、川田市兵衞の小屋「大和劇場」があるのだ。

だが松の家」座の泊つてゐる旅館は朝日廣場から劇場の方へは行かず、東公園町を通つて、滿鐵本社の裏の方にあるミノリ・ホテルだつた。

「ねえ、ホテルへ今から歸つても仕方ない、大廣場の方へぶら〳〵散步してみない」

「さうねえ」

と眠れなかつた重い頭で生返事をしてゐる治子の意見などは構はないで、

「さ、行きませう」

と、さつさと決めてしまふいつもの調子の花柳かの子である。

「そんなら、東廣場から山縣通りを行けばよかつた」

「でもさ。散步なんて、目的なしに步くから面白いんぢやアないの。遠廻りの面白さつて、あんたには解らない」

上機嫌な花柳かの子は、勝手に理窟をつけて、朝日廣場から東公園町通りを、途中からホテルの方へ曲らないで、どんどん大廣場へ向つて步き出すのである。

「だけどねえ、ハルちやん實際あたしや、お前さんに感謝してるのさ」

「何を?」

と治子は、ちよいと、あどけない聲をした。

「何をつて、あんた…あんたのお蔭で松の家一座は持つてるみたいなもんよ。黑河で御難を喰つたとき、黑河ホテルでハルちやんのブルース大受けだつたからこそ、あたし達はかうやつて大連くんだりまでノシて來られたんだよ……それもさ、こんないい條件で打てるなんて、あたし達は始めてさ」

御軍務を第一
畏し閑院宮殿下の御日常
御附武官厨少佐謹話

【東京發國通】滿洲事變以來滿八年十ケ月の長きに亘り參謀總長の御重職にあらせられて日夜繁劇な御軍務に御精勵あらせられた閑院宮殿下の御日常に關しては參謀本部職員始め國民齊しく恐懼感激申上げてゐるところであるが、御附武官參謀本部勤務厨次郎少佐は三日午後殿下の御日常につき左の如く謹話した

軍務御奏上のため殿下には度々御參內され多いときは日に何度も御參內されたことがあります、これは非常に大切な殿下の御行事で上奏の內容について御研究遊ばされるのはもとより御身を清めさせられ早くより御服裝を整へさせられて御參內の時を御待ちになつてゐらせられます次長の謹話によりますと殿下には皇族の御元老であらせられるに拘らず御謹嚴であらせられ皇族としての御對面は奏上終つて後御椅子を賜つて行はれると承ります、殿下には赤十字社御軍務を第一とされたのであります、殿下にはまた寸暇を利用されまして白衣の勇士を屢々御慰問になり種々御慰めの御言葉を賜り傷病將兵一同感泣した次第であります、戰時下の外將校生徒の教育には殊の外御關心を寄せさせられ士官學校を始め豫科士官學校幼年學校等に台臨將來の陸軍を背負ふべき將校生徒に對して種々御激勵の御言葉を賜りました、殿下の御仁慈は國民の齊しく感激申上げるところでありますが昨年戰線御視察の折柴金山に御登山になりました際御高齡に亘らせられる殿下の御身を御案じ申上げた側近が御駕を御用意申上げると殿下には一言の下にこれを御取止めになり御徒歩で御登山あそばされました、第一線の將兵と　ともに勞　苦を御分ちになる尊い思召と拜し一同感泣した次第であります、殿下の御日常は御謹嚴そのものと申上げても差支へなく畏き極みであります

新參謀總長 杉山大將談

【東京發國通】閑院參謀總長宮殿下の後を襲つて參謀總長の重責につき新しい國際情勢に對處して邁進することになつた杉山元大將は三日午前十時宮中の親補式を終つて秋雨の中を明治神宮、靖國神社に參拜、十一時半頃世田ケ谷區北澤町の自宅に歸つて來た、ケイ夫人の出迎へを受けた大將の顏は輝く重責に引締つてゐる「健康はこの通りますます元氣だ」と玄關前のそぼ降る雨の中に立つた大將のポーズが流石三軍の統帥者を思はせる

本日大任を拜しまして只今宮中に參內致して參りました、重任を拜し恐懼感激致して居ります、精勵致したいと存じてをります、殊に閑院參謀總長宮殿下の御後を拜しまして一層の重責を感じます、時局ますます重大な折柄一層健康を增進粉骨碎身一意大御心にそひ奉る所存であります

と力強い聲を殘して大將は家の中に入つていつた

新容疑者また二名！
ペスト禍 憂色增す防疫陣

四十萬市民を恐怖にかきたて今後どう蔓延するか豫測を許さぬ情勢を示してゐた國都のペスト禍も發生以來十名の痛しき犧牲者はあつたが國都防疫陣の必死の活躍に新らたなる患者の發生も見ることなく當初の線は固く護られて大體これを以て終熄するであらうと豫想されてゐた折柄、交通遮斷區域內室町四丁目金城アパート止宿矢野正光君(二一)及び同町大成館止宿德本憲氏次女富久子さん(一二)の兩名が二日正午ごろから發熱、檢診の結果ペストの疑ひ濃厚となり直ちに千早醫院に收容隔離し、防疫陣營にはさらに新らたなる憂色が漲るに至つた、なほ兩名の病狀は淋巴腺肥大等危險な症狀を認めないが遮斷區域の汚染地帶であるため萬全を期すため取敢へず收容したものであると防疫本部では語つた

死亡者は全部眞性と判明

不幸死魔の犧牲として散つた死亡者のペスト菌については去る三十日發生以來大陸科學院に於て愼重試驗中であつたが、結果〃眞性〃と決した旨三日午後十時防疫本部より發表あつた

小合隆萬寶山兩驛乘降禁止

國都に時ならぬ戰慄を卷き起したペストの傳染經路については既報の如くペスト地域に指定されてゐる農安縣萬寶山からと推定されてゐるのに鑑み、さらに防疫に一段の完璧を期すこととなり農安縣防疫科では滿鐵及び警護隊協力の下に最も危險と見られてゐる京白線小合隆面に萬寶山兩驛に對し旅客の乘降及び生獸皮、穀類の取扱を禁止したので旅行者の注意を要望されてゐる

奉天市評定

國都のペスト禍に對處する奉天市における第一回ペスト防疫會議は三日市公署で市、鐵道總局、鐵道警護隊、警察廳、滿洲醫大、滿赤等關係各機關代表出席の下に行はれた結果左の通り措置を決定、直ちに實施に乘り出すこととなつた

一、病毒搬入防止工作＝△流行地の適切なる處置を要望するとゝもに狀況によつては新京發奉天下車旅客並に手荷物に對する檢診△新京發貨物に對し警戒を行ひ倉庫內の鼠、除蚤を徹底的に行ふ

二、市民に對する事前的豫防工作＝新京方面への不急旅客の延期、又は中止の奬勵△各家庭の鼠退治、有熱患者早期診斷の奬勵をアドバルーン、ラヂオ告示、ビラ等によつて宣傳

三、豫防注射＝醫大、滿赤、盛京、同善堂、結核豫防會、保健所、市立健康相談所、市立婦人病院で豫防注射を行ふ

籠城相見たがひ美談
そば、赤飯くばり……
長期戰だ期せず町民一致

國都のペスト禍を繞つて早くも感激的な幾多の美談佳話が生れてゐるが以下は二週間の足止めをくつた不幸な籠城組に寄せられた相互扶助を地で行く第一報である

▲室町四丁目五そば屋東京庵經營主土屋よしさんは不自由な生活にしのぶ籠城の人達にと漬物四斗入一樽、乾うどん二箱七百人分、醬油一斗入一樽、砂糖十二貫入一俵を寄贈

▲同じく籠城組の一人實昌ビル原曾十郎氏は「今回ビル內からペスト患者を出し、迷惑をかけたことに恐縮し、何かの役に立てゝくれ」と金五十圓を籠城內義勇奉公隊に寄贈

▲日滿商事常務取締役竹內德三郎氏は遮斷區域內にあつて挺身第一線に活躍する義勇奉公隊の勞苦をねぎらひ赤飯三十人分を寄贈

▲同じく義勇奉公隊に譽町三丁目東華看護婦會から隊員用の防毒マスク七十五人分を寄贈

以上いづれも三日屆出のあつたものであるが、かうした各方面から寄せられる同情に對し籠城組を代表して入舟町會長及び義勇奉公隊の指揮者淺井庄一郎氏は次の如く語る

「町內からペスト患者を出し全市民に多大の迷惑をかけ恐縮してゐる折柄、市民各位より電話で或は書面を以て「必要なものがあれば屆けるから遠慮なく」と溫い同情を戴き一同感激して居ります、貴紙を通しよろしくお傳へ願ひたい」

青年學校查閱

新京青年學校をはじめ新京各私立青年學校の教練查閱は秋期の六日午前八時三十分から新京兒玉公園內陸上競技場で擧行されることになつた

嚴重警戒に當る東三條通り防疫陣【昨夜寫す】

金指環を獻納
新開樓藝妓の美擧

三日午後三時頃四道街署警務係富田主任の前に金指環(寶石拔)一箇、金側時計(機械拔)一箇を「國防獻金の一部にして下さい」と持參した姐さんがある、大阪市生れ西五馬路八一ノ三新開樓抱藝妓笑子こと黒川春子(二五)さん

で稼いでから事ある每に吹き込まれた四道街署署長の愛國熱と貯蓄心に深く感激する所があつたが今回全面的に實施された「金をお國に賣りませう」の聲に率先「妾達の持つてゐる品物が御役に立つならばよろこんで御國のため差上げませう」と樓主と相談の上この擧に出たもの

同署では開廳以來初めての事である春子さんの美擧に感激直ちに本社にこの旨依託して來たので獻納手續を行ふこととなつた【寫眞は春子さん】

獻金

△十月二日迄の分十六萬七千百四十五圓二十二錢△十月三日受付二百四十二圓十九錢△合計十六萬七千三百八十七圓四十一錢△獻金受付場所(休日を除き九時より十六時まで)新京關東軍司令部內財團法人忠靈顯彰會(振替口座新京二、四三三三番)

お米配給難完全に解消
出荷〃大丈夫！〃
その代り値上げご辛抱

今春ごろ全滿のお台所を一寸心配させたお米の配給難は今後全くなくなりタイ米その他の外米使用も不必要とのうれしい措置が講ぜられる代りに近く白米一升につき小賣二錢ほどの値上げが三日興農部發表の康德八年度米穀買入れ及び賣拂價格の決定によつて明瞭となり米穀管理法第八條の規定で糧穀會社が認可を仰ぎ申告によつて早くも一部實施されるに至つた

この決定を見るまでには興農部が糧穀會社と協力、生產者側の田園農家と消費者側の都邑勤勞大衆との双方の利便を圖りそれを巧みに調和すべく並々ならぬ努力が拂はれてをり、買入れと賣却の價格差を減少させるため中間經費の合理化削減を圖り、まづ地方農家側のため出荷その他の便宜のため、從來八十粁以上だつた運距離運賃の遞減を四十粁以上等價に改正すると同時に農家負擔の最大運賃百瓩當り一圓六十五錢を一圓に引下げ相當負擔を輕減した、一方賣却價格も沿線外の生產地方の價格に沿線地方との距離に應じて加算してゐた運賃を撤廢同一になるなど親心の溫いところを見せてゐる

また十月末までの出荷に對しては百瓩當り三圓、十一月末迄には同じく一圓、十二月から一月末日までは一圓とそれぞれ時期別に出荷奬勵金を出すなど農家にとつては興農部の

洲に相應しい非常な利便が講じられ、これがため消費者側への賣却値段が勢ひ引上げられねばならなくなつたが、その影響の大きさと一般消費者の利益を考へ極力中間經費の節減合理化し最小限度の引上げに止めるべく苦心した結果本年度から北海道三等米一つに定められた買入れ標準米百瓩當り一圓十四錢の値上げに喰ひ止める事が出來た

かくて前年度百瓩當り三十五圓二十二錢の北海三等米が今度は三十六圓三十六錢となり一升當りとすれば約一錢七厘の値上げだが、これに小賣手數料全滿平均五パーセントを加へると一般消費者側は直接一升約二錢の負擔が增したことを覺悟せねばならない

しかし今年度は八月中旬の天候不順や最近の降霜等で第一回收穫豫想より幾分減收としてもなほ昨年度よりは二割近くもよい豐年なのに加へ產業五ケ年計畫が官民一致協力の甲斐あつて着々奏效したゝめ既に計畫面積及び收穫を突破して困るがなほ一層增產に努力せねばならぬ時局下に在るので官局の苦心を買ひこれぐらゐの値上りは喜んで辛抱して貰ひたいと興農部楠見農產司長等は希望してゐた、なほ一般小賣市場の値上げが事實となるのは本月中旬頃からと見られてゐる

中央通署 新裝成る

中央通に巍然たる威容を誇る中央通警察署は明治四十年の昔長春縣時代に新京警察署として生れて以來三十四年間の星霜を經て破損して來た玄關外壁等の改築に去る九月五日より改築工事を進めて來たが、三日工事を完了し、中央通警察署の金文字も嚴しく新裝なつた姿を現した

學生軍一千 特別演習參加
青訓代表らも見學團組織

政府では今次特別演習に建國大學、大同學院、醫科大學、法政大學の各學校生徒一千名をそれぞれ南北兩軍に配屬、演習に參加せしめることになつた

なほ全滿の青年訓練所代表國民高等學校、師道學校學生代表にも演習及び觀兵式を見學せしめることに決定した

「密林の怪女」は發禁

本公論社發行「密林の怪女」(加藤博二著)は公安を害するものとして三日首都警察廳から發禁を命ぜられた

農村地區へ 國兵法宣傳

國兵法首都事務局では來る八日から新京農村地區に國兵法の宣傳をすることになり第二軍管區軍樂隊廿二名、國兵法事務局職員、協和會首都本部職員も參加、每日午後五時から音樂、映畫、紙芝居、講演等によつて軍事思想の普及をはかることになつたが日程は次の通り

大屯(八日)合隆(九日)北河東(九日)淨月(十一日)南河東(十二日)双德(十三日)長春(十四日)寬城(十五日)和順(十六日)

薪炭自動車登場
近く初お目見得

ガソリン不足に備へて薪炭自動車を研究中の同和自動車會社ではこのほど見事試作車を完成したので來る十日ごろ新京に輸送して產業部その他關係當局立會の下に滿洲最初の新自動車の試運轉を新京―淨月潭間(三十キロ)に行ふが今後積極的に增產に乘出すことゝなつてゐる

聖鍬部隊中央事務局閉鎖　北滿の國境建設に聖鍬を揮つた建設勤勞奉仕部隊は去る一日後期班九州隊の歸還を最後に特設農場班前後期班の全作業の終了をみたので國通ビル二階に臨時事務所を開設してゐた滿洲建設勤勞奉仕隊中央實踐本部事務局齋藤事務官以下十五名は三日同事務所を閉鎖開拓總局勤勞奉仕科に歸還した

やどかり
門標のない家一掃

一家の存在をはつきり表示すべき門標門札の規格を全滿的に統一して洩れなく勵行させようといふ門標協議會が弘報處の音頭取りで四日午前十時から國務院講堂で民生部厚生科、交通部郵政總局、建築局、治安部、首都警察廳、市公署、協和會等關係機關當事者約五十名を集めて開催される

門標の規格統一とその勵行は單に土地不案內の來訪者に便宜なばかりでなく都市部邑の美觀を助け統制經濟強化に伴ふ白米、小麥粉、石炭、牛乳等の切符通帳制配給や郵政物、新聞等の配達から暫行民籍法戶口調查等の徹底に益するところが多大であり

また滿洲國政の基調となる永住性を助長して借家人根性の是正にも資するといふ精神的方面への好影響も期待されてゐるので武藤弘報處長など大乘氣であり、なほすでに門標問題を考慮研究中の特別市公署の如きはこれに要する琺瑯質資材の準備等に着手してゐる

〃民族藝能祭〃
第一夜異常な賑ひ

東亞共榮圈の確立は先づ音樂からと龍々主催の二千六百年慶祝民族藝能祭は東亞の唄と樂器を以て既報の如く西廣場厚生會館に於て三日午後七時より華々しく開催された

音樂民族コザツクのバラライカ伴奏の勇壯な合唱、耳新しいオロチヨン、ヤクートの民謠、半島潮將の朝鮮歌謠、このほか承德昇平俱樂部の滿洲雅樂、更生蒙古青年によつて奏された胡曲に詩情かき立て、最後に盟主日本の最高峰を示す新京音樂院演奏等各民族特有の音樂に觀衆を完全に魅了し去り盛會裡に第一夜を終了した

なほ同夜はMTCYのマイクが會場に進出慶祝音樂を全滿に中繼放送した【寫眞はオロチヨンの民謠演奏】

滿鐵から獨逸鐵道見學

ドイツ電擊作戰の驚異的勝利の裏には迅速適切な戰時鐵道運輸の力が大いに與つてゐるとされてゐるが、滿鐵では戰時下ドイツ國有鐵道の實地研究のため事務、建設、輸送の三部門から一名づつドイツに派遣することに決定、總局人事課長草ケ谷省三、建設局調查役西畑正倫氏(他の一名は追つて決定)が選ばれ近くシベリヤ經由出發することゝなつた

三千餘圓
海軍への熱誠
九月中の獻金

帝國無敵海軍に對する銃後國民感謝の熱誠は美はしい國防獻金、恤兵金の花と咲き香つてゐるが帝國前衞の一線である滿洲國內に於ても海軍感謝の美はしい獻金が事變後每月つづけられてをり九月中海軍武官府への獻金は國防獻金△二千五百圓(奉天木庭稔二氏)△五百圓(新京川崎留五郎氏)△五十圓(新京中村秀勝氏)計三千五十圓恤兵金百十二圓(錦州北票聯合會、北票縣公署、北票國防婦人會)

本年累計獻金額は二萬六千五百十九圓三十五錢に上つてゐる

寄附

滿洲國參議坪上貞二氏は亡母忌明に際し香奠返しに代へて金二百圓を、また沖電氣株式會社新京支店代表藤彬氏は五百圓をそれぞれ滿洲軍人後援會事業資金として寄附した

奉讚舞踊
「興亞の歌」指導

式年を奉讚する舞踊「興亞の歌」が中山新京舞踊學院長の手でやつと振付けられたので舞踊學院生徒や大興ビルにある大陸文化學園、丁香女塾の生徒さんたちに熱心な指導を行つてゐるが

來る八日に「婦人あるかう會」が行ふ南嶺の建國忠靈廟參拜に參加する女性約五百名にこの舞踊を指導して大いにその普及につとめる一方、同夕刻大陸建設社主催で西廣場厚生會館に開かれる「滿洲開拓の夕」には舞踊學院の生徒によつて一般に發表される

この舞踊は國民舞踊最初の試みとして蒙古の武技をとり入れた中山氏苦心の振付でその發表は興味をもたれてゐる【寫眞はきのふ大興ビル屋上における初練習】

建築場失火

三日午後零時五分新京慈光路六〇六大同公司建築場材木置場から出火木材百餘本を燒いて鎮火した

新發見！
撫順遺跡調查隊

東大名譽教授池內宏博士一行の撫順遺跡調查隊は三日北關山城の發掘に着手したが、一隊は南門で石碑を發掘し見事なる築城振りの一端を發見、他の一隊は內城北寄りの一部を發掘し礎石らしきものを掘り進めるうち鐵製の小さい板樣のものを發見、又同所から鐵鏃が出たので調查は活氣づいて來た、池內博士は

前記小板は輯安の山城子高句麗城跡の壁畫に見る小札である、これは未だ輯安では發見されない、即ち高句麗遺跡において始めて發見した珍らしいものである

と語つた、撫順高句麗は南門北門、東門は判明してゐたが南門の位置は不明とされてゐたものが三日一行の三上東大講師が發見して池內博士に報告したので博士は

高句麗城は東西南北に必ず門がなくてはならない、これは大體城の形は判つてゐたが難攻不落であつただけに頗る複雜です、特に南門寄りの調查に力を集中する

と語つた

電業軍優勝

電々對電業定期野球決勝戰は一勝一敗のあとをうけて三日午後四時十分から兒玉公園球場に於て大辻(球)古賀、川田、針原(壘)四氏審判、電々先攻で開始されたが、電電內野守備惡く失策續出し延長戰に入る接戰乍らも六A對五で自潰、電業優勝を遂げた

		計
電々	000401000000	5
電業	100130000001	6

(電々)打36 安7 犧1 盜5 振3 四6 失5
(電業)打37 安6 犧1 盜3 振8 四4 失2

對大連籠球戰

大連市籠球チームを迎へて全新京軍は六日兒玉公園特設コート(雨天の場合は敷島高女)において午前十一時よりA組午後四時よりB組の二部に分れ第二回交驩籠球大會を擧行する、兩軍のメムバー左の如し

◇大連軍＝監督石田忠彥、主將佐々木茂、選手小澤久男、二階堂政吉、竹內善壽、齋藤嗣一、村木敏雄、重富平太、平戶正男、東瀧嘉雄、山崎純二、横下三郎、田中新二

◇新京A軍＝監督中山克己、マネーヂヤー安孫子吉一、主將鈴江明仁、選手岡崎仁郎、樋口克己、福山眞三郎、宮城直行、竹內信夫、石田拓之、志村信男、山田一男

◇新京B軍＝監督福山眞三郎、マネーヂヤー張慶和、主將王鳳、選手史振芳、關家、王史德、張甫、宋延曹、侯萬昀、張澤忠、王集棟、任錫昌、黃文憲、蔡

七分搗

軍報道班の人見大尉、あの通りの堂々たる體軀だが、あれでなかなかセン細な神經をもつてゐる、從つて感覺が銳敏であり繪の批評なんかどうしてどうして隅に置けないものがある

×

或時僕アこれでも繪をやつたことがあるんだよ、もう二十何年も前のことだがね、小學生の時さ、その時分の僕の繪ときたら、先生が感嘆して二科展に是非出すやうにとすすめられた程なんだ、でその時代の夢はつまり繪かきになることだつたよ

×

ところが中學生になつてから繪の先生が僕の繪をなつとらんて云ふんでねがつかりしたものさ、そこで今度は文學に轉向した、文學青年になつちやつた、エ、それがどうして軍人になつたかてのかさア、それが僕にもわからないんだよ、こりやア全く不思議だね……

天氣豫報

けふの天氣　南西の風晴時々曇
きのふ　最高 二五度六　最低 六度四

家庭

ペストの媒介者 ねずみを退治しよ
噛まれたら手當を急げ

市中からペストが發生して、市民に新なる戒心をあたへました、しかも今夏中實施されてゐたペストの防疫陣が撤回されて間もなくのことですので、防疫の衝にあたられる當局の方々の努力もたいへんなものでした、ペストと鼠はつきものです、それは鼠がペスト傳染の媒介をする最も危險な動物であるからです、それで今年の夏も、政府は費用を支出して各派出所に捕鼠器を備へつけ、希望者にこれを貸與して各家庭に鼠の捕獲を奬勵し、生鼠は一匹十五錢、死鼠は五錢で買ひ取り、鼠の殲滅をはかられました、鼠の害はペストに限らず食べ物を漁つてお臺所を攪亂し果ては床や疊に穴をあけたり、もしかみつかれでもすると一週間後には高熱が出たりする等人體にも障害を及ぼしますので鼠は必ず各家庭で退治していたゞかねばなりません、鼠退治の簡單な方法は、鼠の出る所に食べ物を置かぬことです、もし思ひがけぬ所で食べられたら片つぱしから嚴重に隱して下さい、床や疊或は障子、ふすま等にがりがりと穴をあけたら、そこには古い金網のギザギザになつた部分を侵入して來る方に向け、その上に板をうちつけてしまふと、たいてい姿を消してしまひますが之は消極的な單に驅逐する方法ですが、徹底的に退治するには鼠取りを使ふのが一番よい方法です、餌は油揚やてんぷらの類が最もよくかゝりこれを鼠の出入口に置きます一度かゝつたら、熱湯をよくかけて臭氣をとつておきます猫イラズを用ひる方法もよろしいのですが、死に場所が判らなくなり、床下などで腐敗しても氣持よくありませんので、矢張り捕鼠器の方がよいと思はれます、何は鼠は嗅覺が非常に鋭敏ですから、子供の口や手足に食物の殘りをくつつけておいたまゝ寢かせると、この臭ひによつて忍び寄り、かみついたりなどしますから、不注意のないやうに氣をつけないといけません、もしかまれたらすぐマーキロクロームか沃度丁幾を塗つて醫者に相談し、大事をとつていたゞきたいものです

鍋類の家庭修理法

鐵やニユーム鍋などに出來た穴やヒビを簡單に修理する方法を御紹介しませう、先づ鍋釜類をよく洗ひ水氣をきります、次にその穴やヒビに鷄卵の白身にウドン粉を混ぜて練つた糊を指先でスリ込み適當に水を入れて煮沸しますと卵白は水に不溶解性のものとなり水漏りは絶對にとまります材料はどこの家庭にもある品ですから是非お試し下さい

堅い牛、豚肉は

牛、豚肉の堅いのは實に不味いものです齒の惡い方は喰べることも出來ません、こんな肉を料理する前、玉ネギのおろし汁の中に十五分程つけておくと驚く程柔かくなります

食餌療法で癒る 慢性胃腸病

慢性胃腸病にお困りの方は、日常の食事に注意しなければなりません、まづ主食物としてよいものは七分搗米、おかゆ、食パン、うどん、さうめん、オートミール、そばがき等、但しうどん等のめん類の汁はうす味でないといけません、副食物は魚肉（煮たもの、燒いたもの、さしみ、汁もの）と野菜、又は魚肉と汁物といつたやうに蛋白質と澱粉質とを配合よくすることが大切です　例へばあぢの煮たのと馬鈴薯の煮つけ、小鯛の鹽燒きと煮豆といふやうに二種を配合します、蛋白質としては、魚類は脂肪の殊に多いものゝ他は何でもよく、豆腐、麩、はんぺん、幼鷄肉、脂肪の少い牛、豚、兎の肉、半熟玉子、牛乳等がよろしく、澱粉質としては軟い野菜類はなんでもよく、黒豆を除く凡ての軟い煮豆類、冬瓜、胡瓜、南瓜、大根、人參、かぶ、よく煮たねぎの軟いところ、皮をむいた茄子、菜類はごく軟い芽だけ、大根おろしはからくないもの、林檎のおろし汁、果汁等がよろしいのです、パンは砂糖やジャムをつけてはいけません、バタをつけるのはよいのですがトーストはいけません、避けなければならぬ食物は、鹽からいもの、酢つぱいもの、辛いもの、甘過ぎるもの等總て味の濃いもの、お新香や野菜の根元の筋の太い所、牛蒡、たけのこ、きのこ、たこ、いか、さゞえ、かまぼこ等、或は非常に固いもの、脂肪の多いもの、非常に熱いもの、冷いもの、アルコール分、煙草等は絶對に避けていたゞきます、又肝臓病、胃酸過多症の方は牛乳、玉子、肉類を避け下痢しやすい方は生ものは魚でも野菜でも一切避けねばなりません

たゝずむ花嫁

員の方が、重いかつらやかさばる衣裳に汗だくとなつてひと息入れてゐるところでした、花嫁は勿論、抜き衣紋の粋な後ろ姿を見せてゐる佳人も何んと鍛へに鍛へた巖丈な體軀の男性です

雄然とした式場だな、と思つたら、これは某會社の家族會の餘興で花嫁行列に出場する社

婦人隨想 「宿題」と子供

兒童が學校から歸つて來て遊んでゐると、母親は先づ「宿題は濟みましたか」と問ふ「今日は宿題は無いよ」と勝ち誇つた樣に言つて遊びに出て行く時、母親は「先生はなぜ宿題を出してくれないのだらう」と思ふ、その樣なことに慣れた子供は、何か自分の上に用事が命ぜられさうになる危險を感じると、すぐ、机に向かつて本を讀み出す　さうしてその樣な時、問題は子供を働きから逃れさす眉の役目をつとめるのである、宿題だといへば母親は仕方がないと諦める、かうして子供が机についてゐる間は勉強してゐると安心するのが常である、子供が机に向かつて所謂勉強なるものをしてゐるとき子供達はこの避難所（?）で何を考へ何を習得しつゝあるかといふ事を愛情をもつて見護りつゝある母親が幾人あることだらうか、子供達が中學校、女學校に進む樣になつて、ことは一層重要さを加へる、監視する母親はあつても愛護する母親は少いものである、愛護とは寒い時子供の背に羽織を着せかけてやる事や試驗時に勉強部屋にお菓子を運んでやる樣な優しさばかりではない透徹した信念なくしては本當の愛護は出來るものではない「うちの子供は學校から歸つたら決まつて勉強だけはします」といふ安心が子供達がこの避難所の要領を知るやうになつたといふ樣なことを意味する最惡の場合だつて絶無ではないのである

（杉田生）

子供の讀物紹介

◇戰地の子供　國分一太郎著　尋常四年生以上向き（中央公論社發行、定價二圓）

◇家族ロビンソン　清水暉吉譯、自然科學の知識が養へます（朝日新聞社發行、定價一圓五十錢）

◇一年生ツヅリカタ繪本　百田宗治選、内地各府縣から一年生の綴方を集めたもので繪も加へてあります（コドモノクニ社發行、定價一圓二十錢）

◇火焰　白井俊明著、火に關する知識を讀み乍らあたへます（誠文堂新光社發行、定價二圓）

◇原子の話　鳩山道夫譯、科學訓練の副讀本（誠文堂新光社發行、定價二圓）

◇先生の鞄　兒童文學研究會編、小學三年生から六年生向きで兒童生活を描いた童話が二十二篇收められてをります（童話春秋社發行、定價一圓二十錢）

◇カミサマのオハナシ（その一、その二）藤田美津子著　童謠の神話が美しい文章で綴つてあります（東京市赤橋幼稚園母の會發行、定價兩冊二圓六十錢）

◇宇宙旅行　光川ひさし著、ロケットに乘つて天體を見物する興味ある科學讀物（誠文堂新光社發行、定價二圓）

獻立 薩摩芋の砂糖煮

薩摩芋の皮をむき、二分厚み位の輪切りとし（水につけてはいけません）底の廣いニユームの鍋に、芋百匁に對して砂糖五十匁、鹽を大匙二杯と水一合の割合に入れて芋を重ねないやうに一列に並べて入れ、そのまゝ強火にかけて五分間位煮たならば芋に水色の出ないうちに手早く一つづつはさみ出して、重ねないやうに廣いうつわに立てかけて列べて冷します

ラヂオ

あさ

七、〇〇（新京）建國體操、天氣豫報
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、三〇（新京）ニュース
七、三〇（奉天）朝の修養「吉野朝文學に現れた勤王思想」（一）　岩佐正
七、五〇（大連）初等滿洲語講座
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）朝の音樂（レコード）（一）ピアノ獨奏　一、旅人の歌（パデレフスキー作曲）一、マジルカ嬰ヘ短調（ショパン作曲）（二）管絃樂　喜歌劇「雲雀」序曲（レハール作曲）ドイツ放送大管絃樂團（指揮）リヒアルツ
八、四五（新京）建國體操
九、五〇（東京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況
九、五〇（大連）幼兒の時間　童話劇「蜜蜂のマーヤちやん」（一）オモチヤクラブ
一〇、〇五（哈爾濱）家庭メモ
一〇、一〇（哈爾濱）料理獻立
一〇、二〇（哈爾濱）家庭の時間「婦人と俳句」　佐々木有風
一〇、四〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

ひる

〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（東京）防空豫告
〇、一〇（東、新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、五〇（奉天）經濟市況
一、五五（新京）氣象通報
二、〇〇（東京）婦人の時間「此の頃のニユースから」
三、二〇（東京）經濟市況
三、三〇（新京）教師の時間「放送一周年に當りて」在滿教務部長岩松五良
四、〇〇（東、京）ニュース・教育だより
四、三〇（奉天）經濟市況
五、三〇（新京）レコード（一）サキソフオン獨奏　一、ヴエニスの謝肉祭（クオラー作曲）二、二つのメロデイ（クビンスキー作曲）三、エスペランス舞曲（ヘルメス作曲）東松二郎（ピアノ伴奏）芝辻實三（二）三重奏　三重奏曲（クロイツアー作曲）（ヴアイオリン）西田粒吉（クラリネツト）東松二郎（ギター）小池正夫

よる

六、〇〇（東京）子供の時間　ラヂオドラマ「空に備へよ」内務省防空讀本より（北村壽夫脚色）服部昭二、他（合唱）若葉こども會（ピアノ伴奏）長宗鍵一
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（新京）趣味講演「滿洲の大豆を語る」三木俊二
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピツクス
七、〇〇（東、新）ニュース・告知事項、今晩の番組
七、三〇（東京）國民歌謠「警防團歌」（大日本警防協會撰歌、東京音樂學校作曲）「國民進軍歌」（軍事保護院、陸海軍省撰定）（獨唱）伊藤武雄（合唱）日本放送合唱團（伴奏）東京放送管絃樂團
七、四〇（南京）講演
八、〇〇（東京）吹奏樂　一、行進曲「深夜の警鐘」（陸軍々樂隊編曲）二、行進曲「航空日」（陸軍々樂隊作曲）三、軍歌「愛國機」（佐藤惣之助作詞、陸軍々樂隊作曲）四、行進曲「日本航空三十年」（長津義司作曲）五、行進曲「防空」（陸軍々樂隊作曲）六、行進曲「航空日本」（佐々木すぐる作曲、陸軍々樂隊編曲）七、大行進曲「英雄」（サン・サーンス作曲）陸軍々樂隊（指揮）隊長　大沼哲
八、三〇（新京）支那劇物語「販馬記」（大内隆雄構成）（物語）天野博之
八、五〇（新京）詩吟　一、闘鶴山　二、亡友月照十七回忌辰作　三、辭世　四、澁流
九、〇〇（東京）時事解説
九、三〇（奉天）クラリネツトとサキソフオン獨奏　一、クラリネツト獨奏「セレナード」（グノー作曲）二、サキソフオン獨奏「セレナード」（ドリゴ作曲）三、「ソルベージの歌」（グリーク作曲）中村公俊（ピアノ伴奏）磯部洋一
九、三九（東、新）時報、ニュース、ニュース解説、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニユース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（鼓詞）

婦人と子供の時間

（前九・五〇）幼兒の時間、童話劇「蜜蜂のマーヤちやん」一（一〇・〇五）家庭メモ（一〇・一〇）料理獻立（一〇・二〇）家庭の時間「婦人の俳句」（一〇・四〇）食料品値段（後三・〇〇）婦人の時間「此頃のニユースから」（六・〇〇）子供の時間、ラヂオドラマ「空に備へよ」（六・二〇）コドモの新聞